

多の事

秘書官 

津五 校令 

六月廿 


二十二年六月十九日


主務


立案者

決裁濟

大臣 次官 研

第二局長 

第一課長 

第二課長 志道 

第三課長 

市指合機

三ノ雄者第四号ノ三ノ雄以和及昔見及
同夏百方致四ノ件三ノ雄
但シ一サリハ三ノ雄ノ可畫ニ由リ
三ノ雄ノ上
三ノ雄ノ上
三ノ雄ノ上

官房第一〇六〇号

東洋館

参事長

製巻科

受領

六月八日

遊

核造方三号

水雷發射管及同管取附方改正之裁

上申

六月八日進達

兵器部長花田

本艦は備付水雷發射管ハ艦側ニ取附ケタルハ

ルンツケルヨリ以外ニ五百ヤシト突出スルカ故ニ裝

置シタル儘ニ扉ヲ鎖ス能ハス海上ニ於テ水雷ヲ裝

填スルコト頗ル困難ナルヲ以テ信シ本艦水雷長ヲ

シテ海軍省第三局第一課ニ照會者致美ノ虞

同課ニ於テ之ヲ改正スラ可トシ附圖ノ如キ改

正案ヲ以テ回答有之矣則チ該改正案ノ如キ改

良ハ豫テ望ム処ノモノニ其間右附圖ノ如ク至急法

改正相成候様致度且右邊改正ノ序ヲ以テ電

1305

1306

甲倉 錦 天行

受六月八日

四方改正二裁

長瀬部長花田

塹側之取附ケタルハ

突出スルカ故ニ装

上ニ於テ水雷ヲ装

本艦水雷長

會考致美慶

トシ附圖ノ如キ

改正案ノ如キ

圖ノ如ク至急

正ノ序ヲテテ以テ電

1305

1306

本件改道言別存案ニ係上

甲物可然ノ事お多ク可

此等部ノ原ノ工率

六千。入費凡四百田

三十五年六月

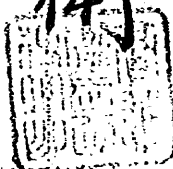
造部



氣作用に依り並發射スルヲ裝置ヲは附加相成ロ
サレハ浪東高千穂五艦ニ於ケル者ニ等シクは取
附有之ニ様致度此段上請仕矣也

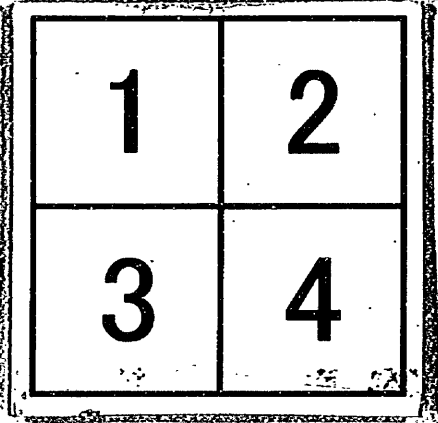
明治廿三年六月七日

高千穂艦長心得山本權兵衛



横須賀鎮守府司令長官子爵禮景範殿

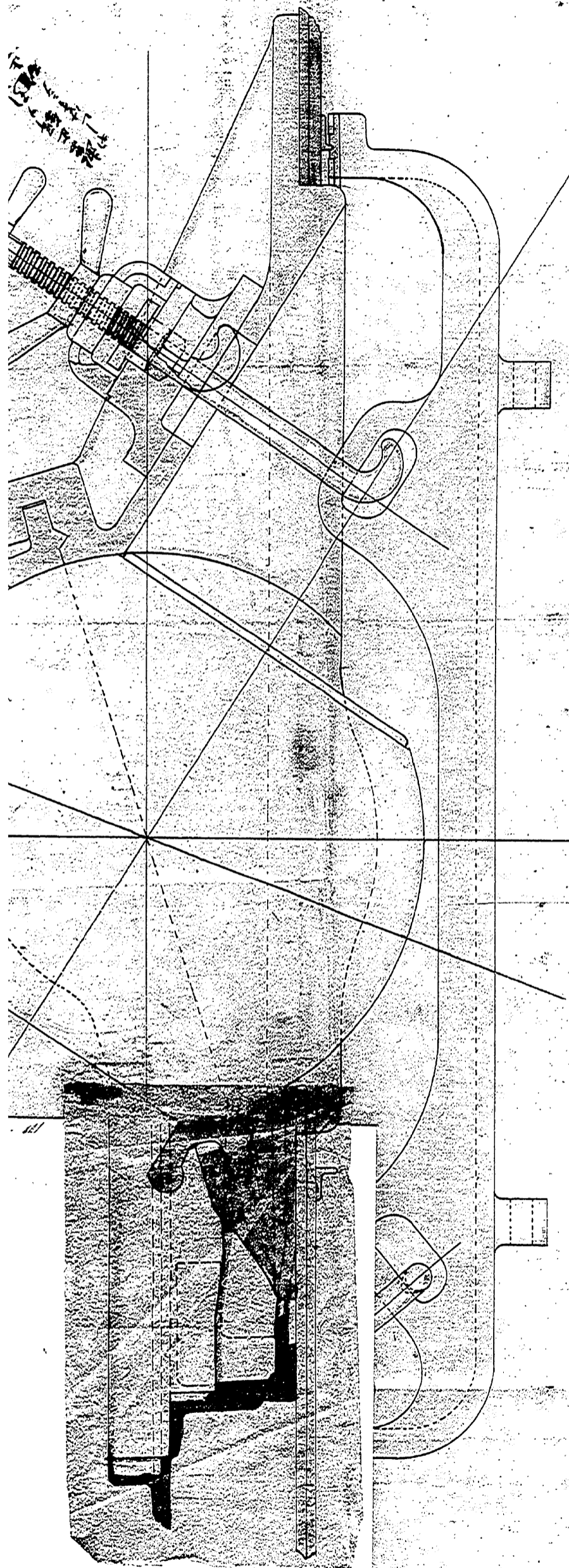
分割撮影ターゲット

| | |
|---------------------|---|
| 分割した 部分の 撮影順序 |  |
| 分割撮影 した理由 | A 3 版 以 上 の た め |
| 上記のとおり分割撮影した事を証明する。 | |

1308
1309
1310
1311
1312

軍艦高雄発射門扉改正之圖

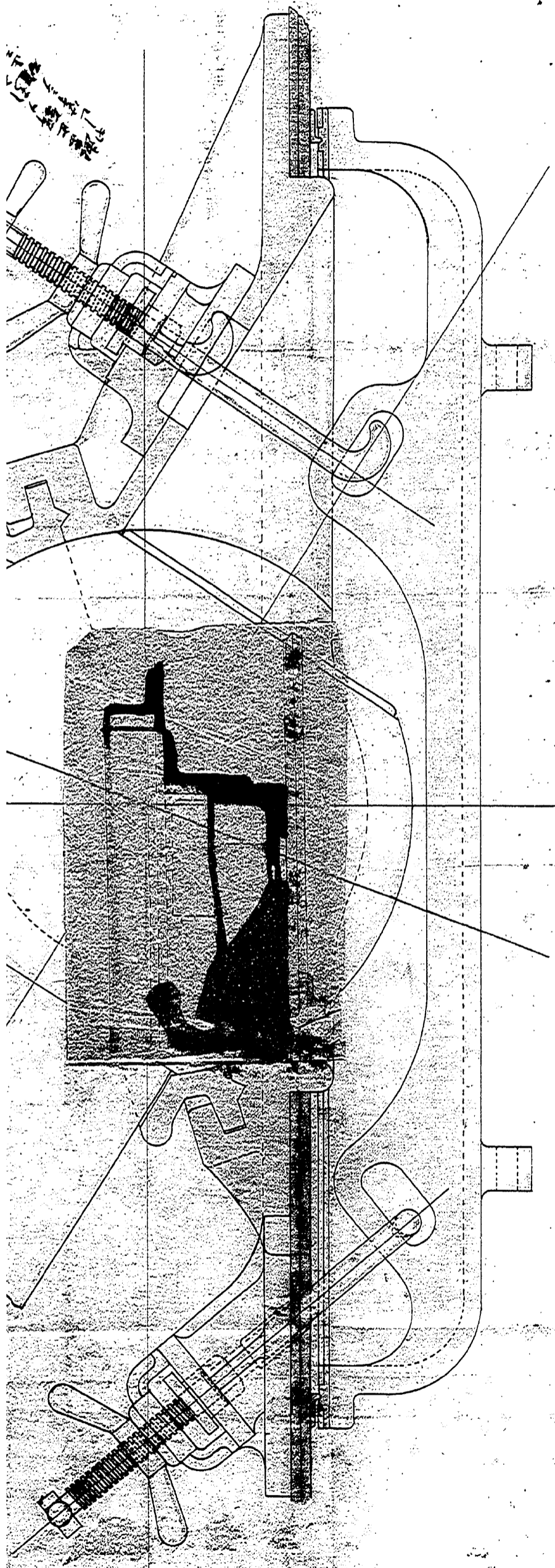
(本圖ハ装設已ラズルニシテ
空地ニ白キニ適宜製出スル事)

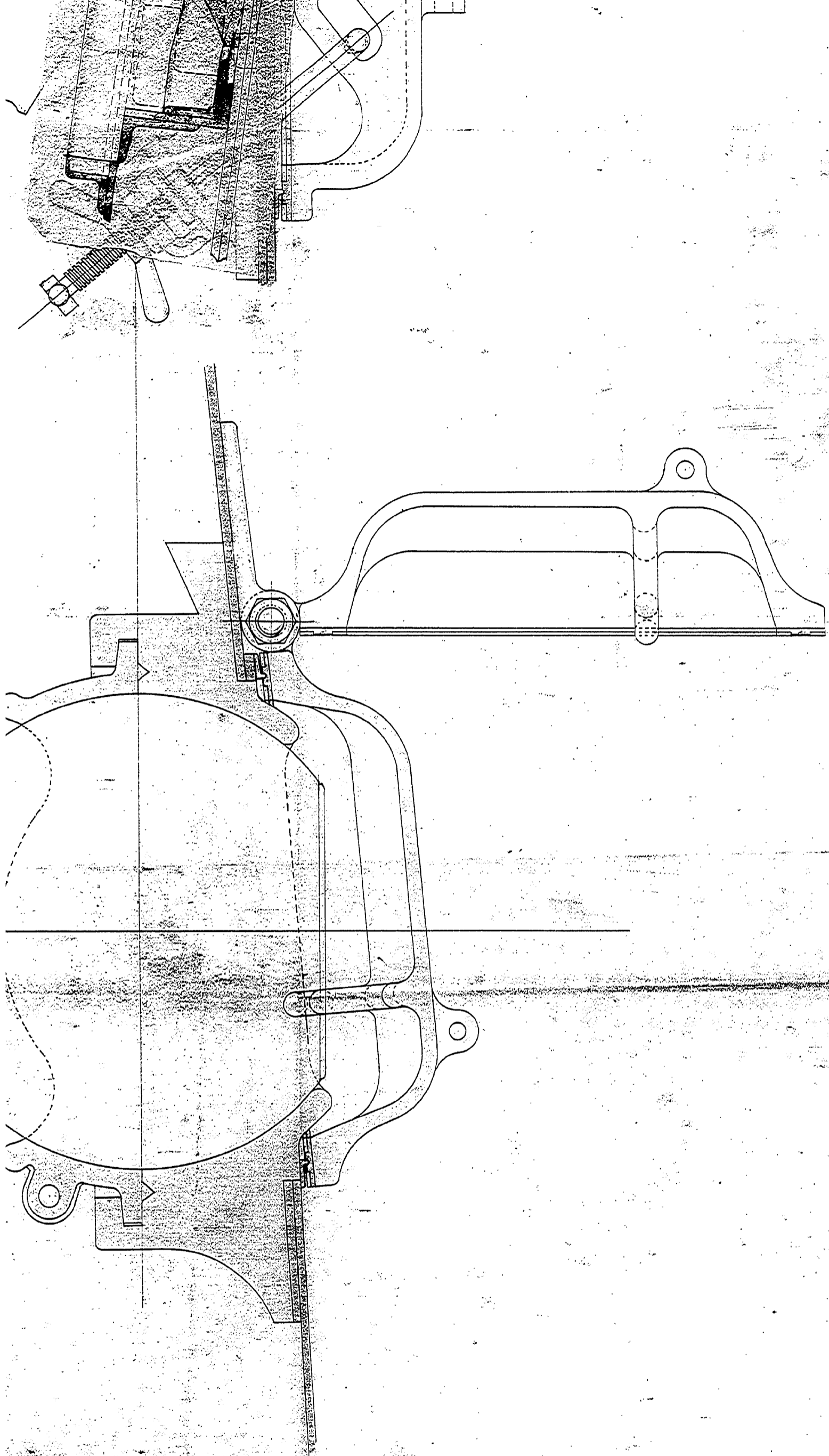


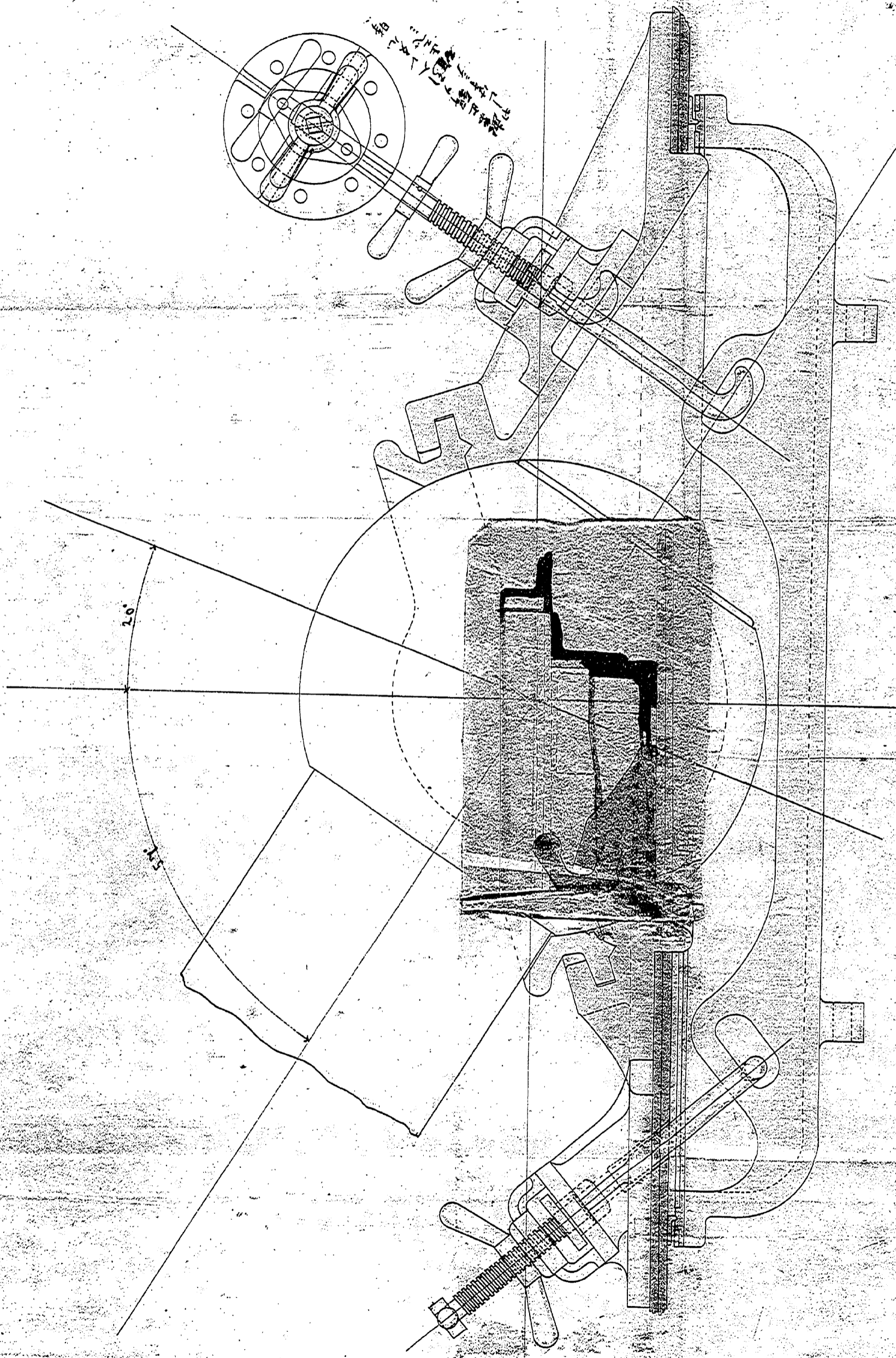
1308
1309
1310
1311
1312

軍艦高雄発射門扉改正之圖

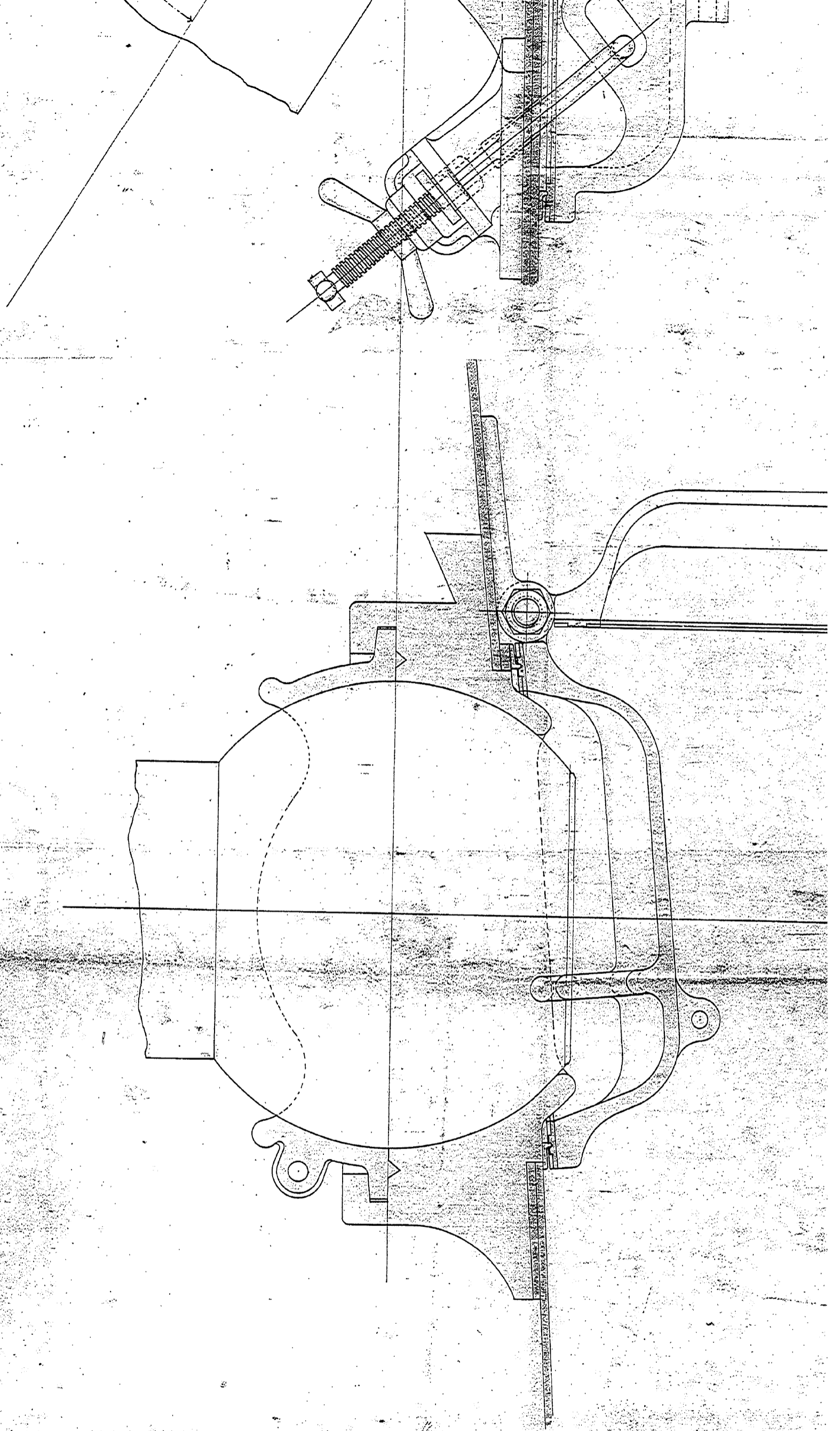
(本圖の装置は、
宣地ニ白子ノ邊ニ製造セラル)



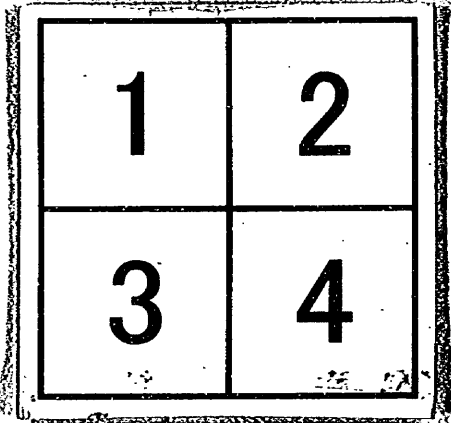




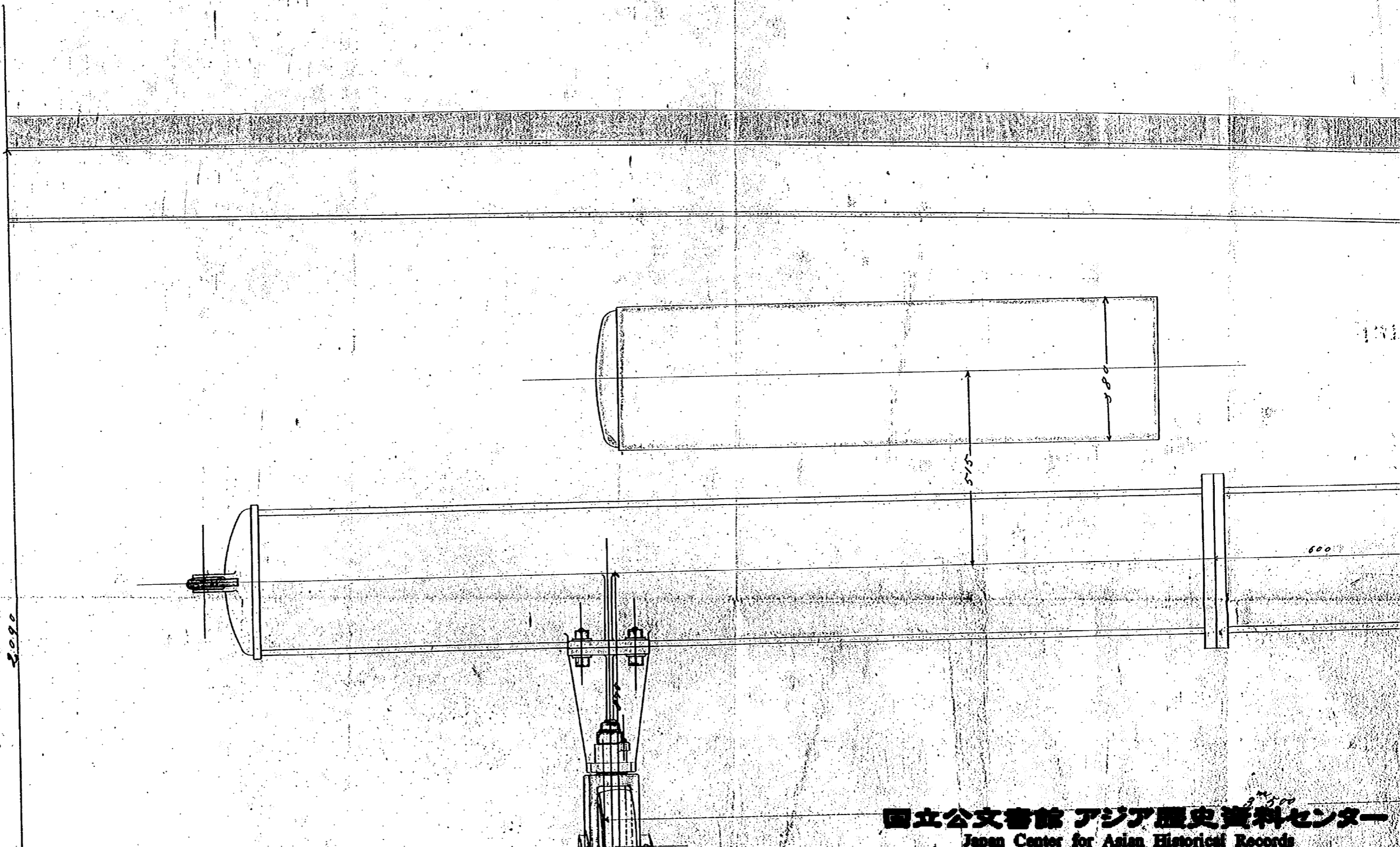
組立図
組立順序
組立順序



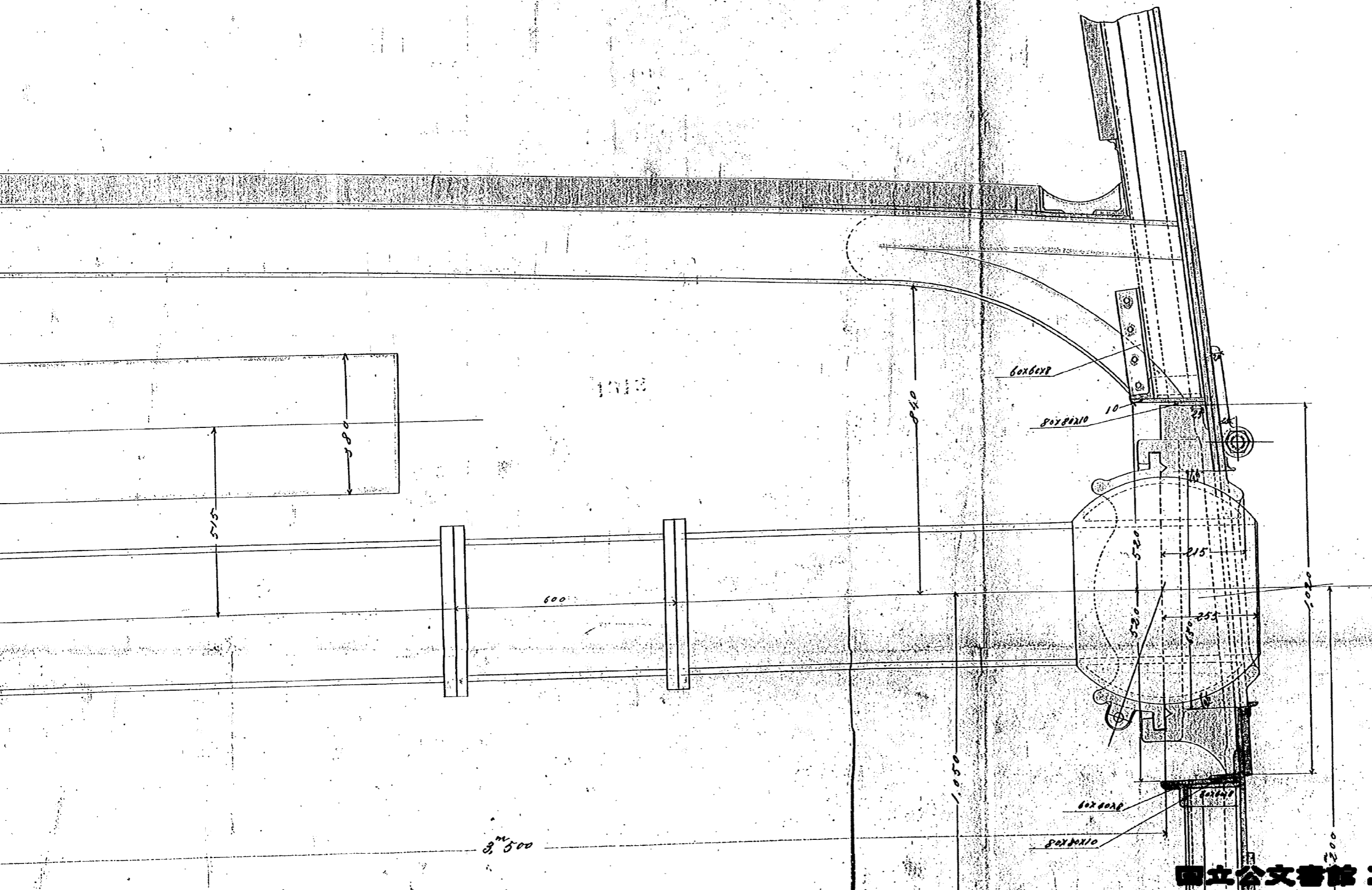
分割撮影ターゲット

| | |
|---------------------|---|
| 分割した 部分の 撮影順序 |  |
| 分割撮影 した理由 | A 3 版 以 上 の た め |
| 上記のとおり分割撮影した事を証明する。 | |

1313
1314
1315
1316



高雄普第四号、附番
高雄究射管改正ノ図



2090

